



2024年3月期 第2四半期 決算説明資料

2023年11月14日

証券コード：4022

目 次

1. 事業概要

2. 2024年3月期 第2四半期実績

1. 事業概要

事業概要

会社概要

商号	ラサ工業株式会社
本社	東京都千代田区外神田一丁目18番13号
創業	1913（大正2）年 5月 1日
設立	1918（大正7）年 6月 26日
従業員数	610名（連結）

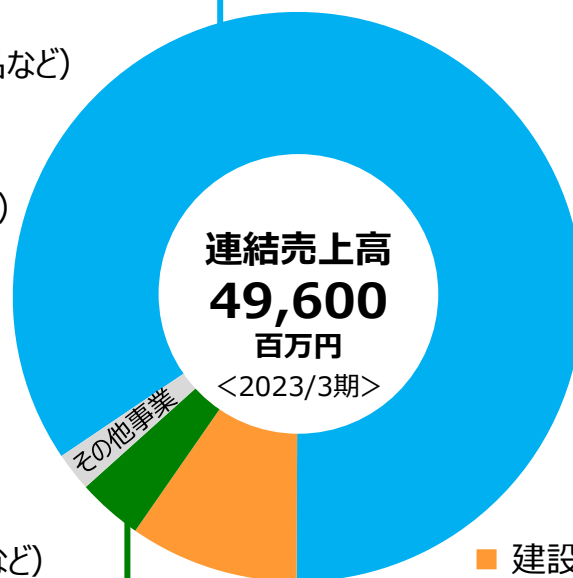
<2023年3月31日現在>

化成品事業 41,918百万円／84.5%

- リン系製品
リン酸（一般品、電子工業向け高純度品など）
リン酸塩など
- 凝集剤（水処理用など）
- その他（コンデンサー向け原料、消臭剤など）

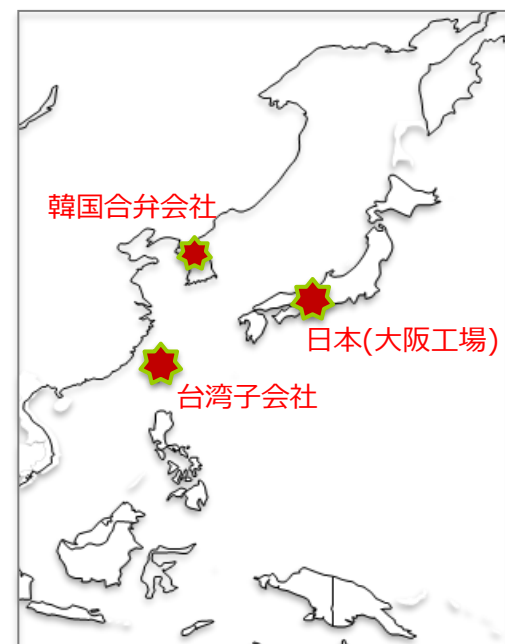
- 化合物半導体向け高純度無機素材
（ガリウム、インジウム、赤リン、酸化ホウ素など）
- 放射性ヨウ素吸着剤

電子材料事業 1,830百万円／3.7%



- 建設機械（破碎機、選別機、粉体機器）
- 土木機械（掘進機（上下水道向け））

機械事業 4,739百万円／9.6%



<半導体向け高純度リン酸の製造体制>

2. 2024年3月期 第2四半期実績

2024年3月期 第2四半期 決算概要

- 売上高は、化成品事業、電子材料事業において半導体市況の悪化により減収。機械事業は増収。
- 営業利益は、市況悪化による販売数量減を主因として、47.6%の大幅減益。

(単位：百万円)

	2023/3期 第2四半期	2024/3期 第2四半期	増減	前年同期比	第2四半期 期初予想	増減
売上高	25,205	20,640	△ 4,564	△ 18.1%	22,800	△ 2,159
営業利益	2,626	1,376	△ 1,249	△ 47.6%	1,500	△ 123
経常利益	2,750	1,353	△ 1,396	△ 50.8%	1,500	△ 146
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,831	991	△ 839	△ 45.8%	1,150	△ 158

(減価償却費)

915

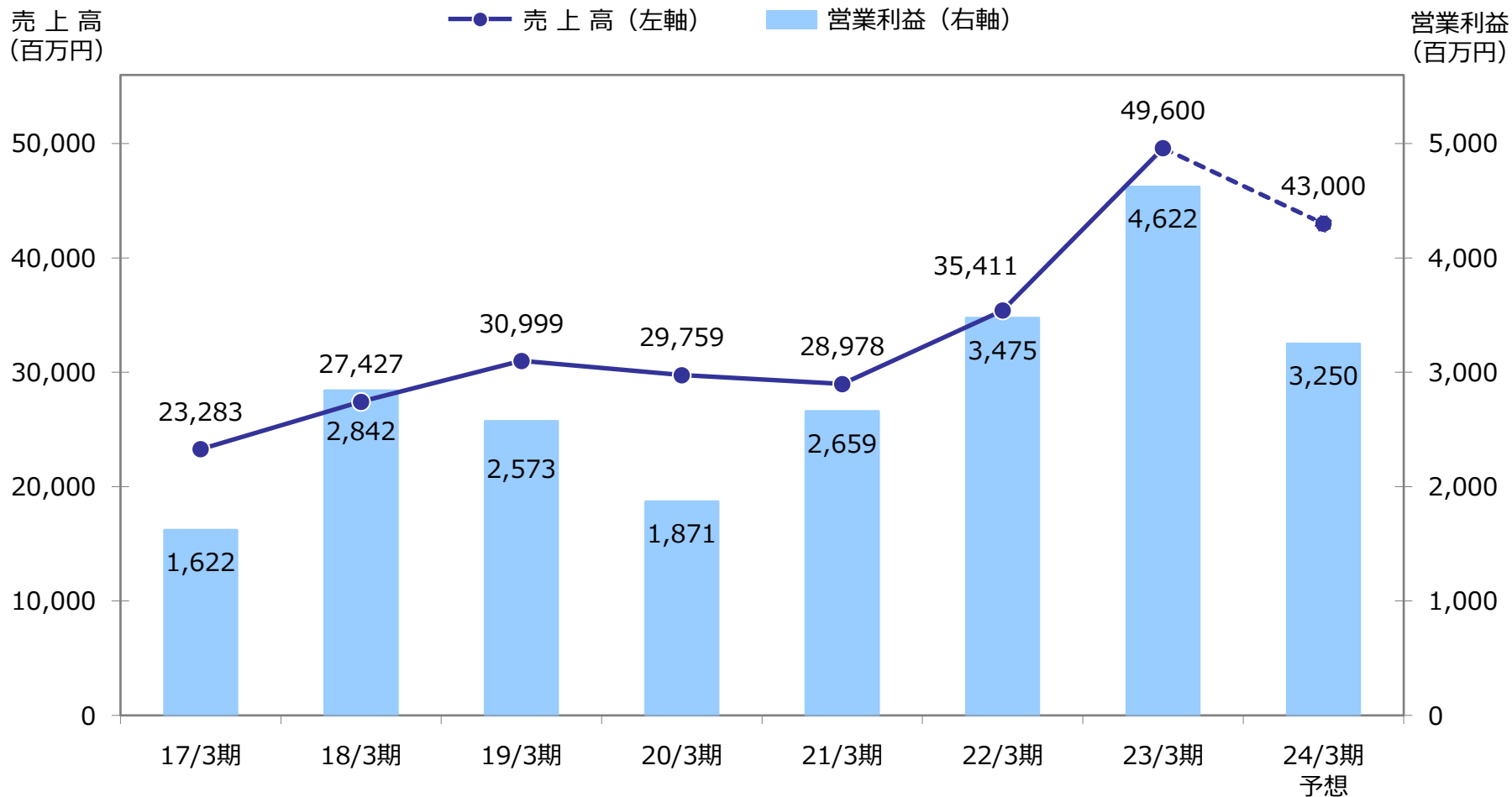
930

15

1.7%

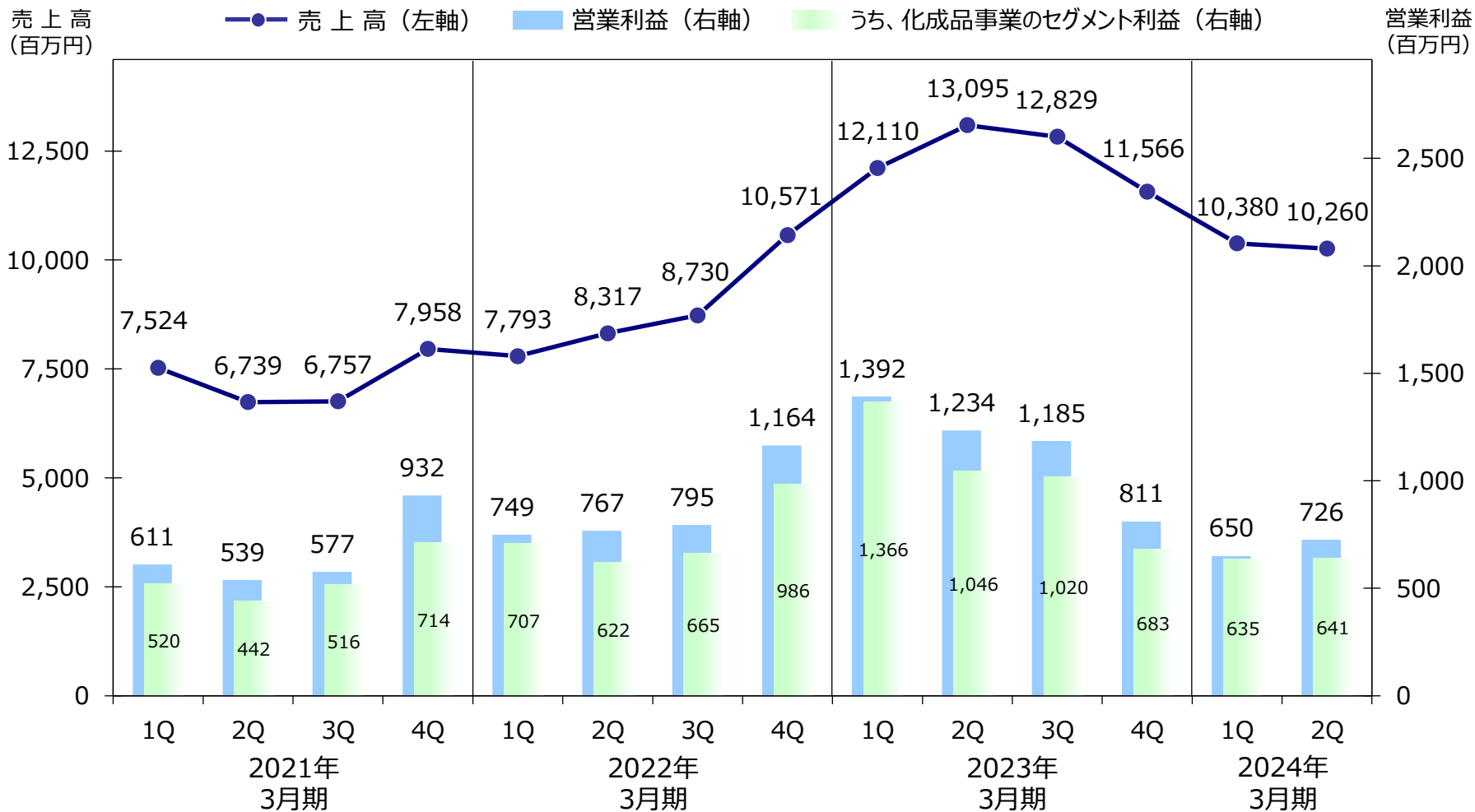
年度業績の推移

売上高と営業利益の推移



四半期業績の推移

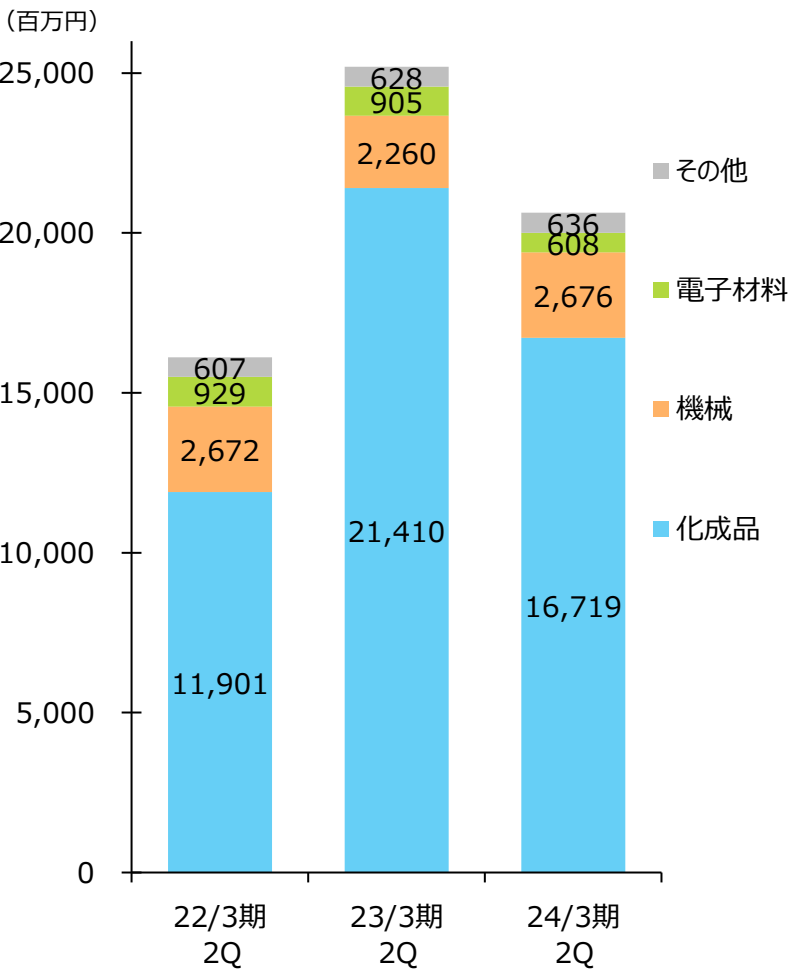
四半期売上高と営業利益の推移



2024年3月期 第2四半期 セグメント別概要（売上高）

売上高の推移

	2023/3期 第2四半期	2024/3期 第2四半期	増減	前年 同期比
化 成 品	21,410	16,719	△ 4,690	△ 21.9%
機 械	2,260	2,676	415	18.4%
電 子 材 料	905	608	△ 297	△ 32.8%
そ の 他	628	636	8	1.3%
合 計	25,205	20,640	△ 4,564	△ 18.1%

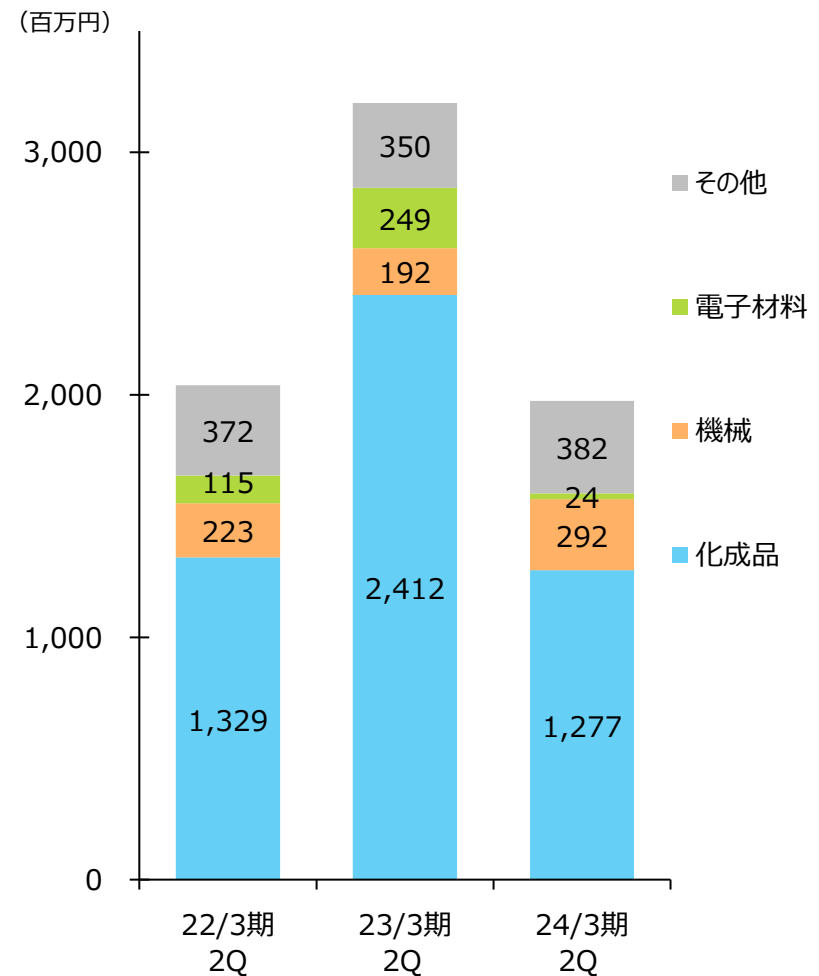


2024年3月期 第2四半期 セグメント別概要（利益）

セグメント利益の推移

(単位：百万円)

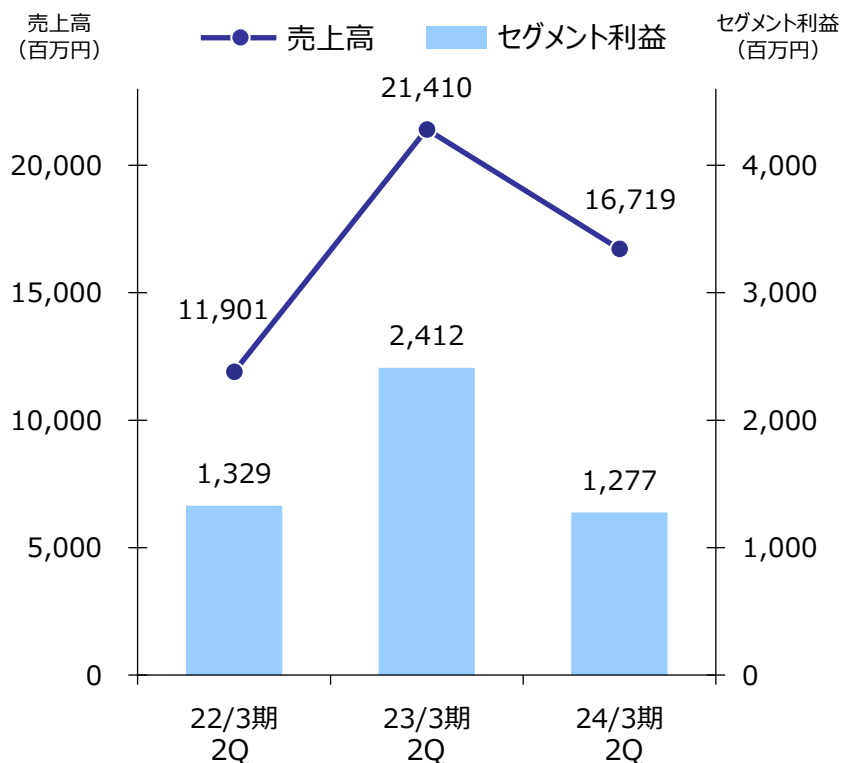
	2023/3期 第2四半期	2024/3期 第2四半期	増減	前年 同期比
化 成 品	2,412	1,277	△ 1,134	△ 47.0%
機 械	192	292	99	51.8%
電 子 材 料	249	24	△ 225	△ 90.4%
そ の 他	350	382	32	9.3%
(調 整 額)	△ 578	△ 600	△ 22	—
合 計	2,626	1,376	△ 1,249	△ 47.6%



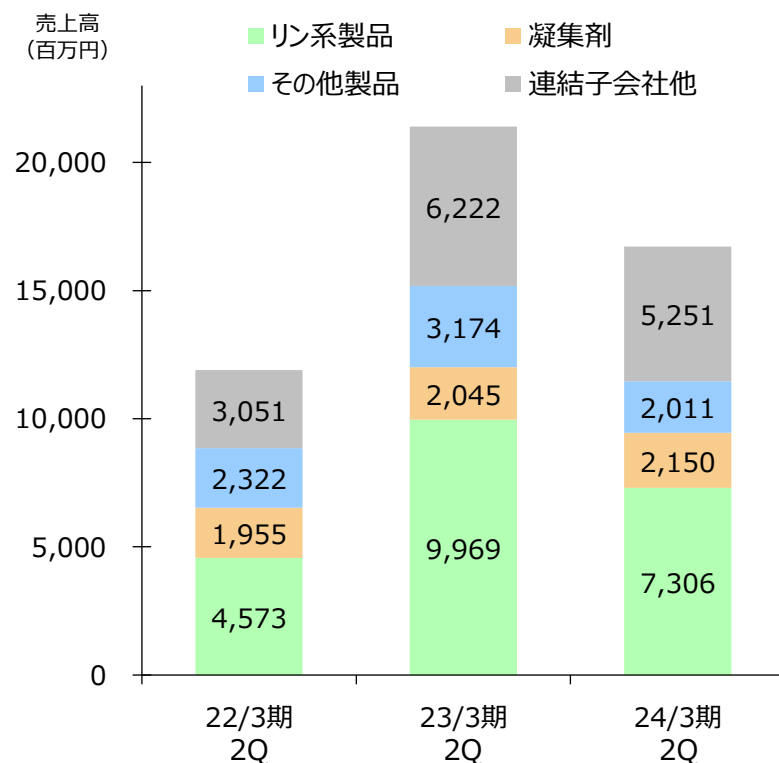
化成品事業

- リン系製品は、半導体向け高純度品が、市況の悪化を受け国内外共に減収（連結子会社分を含む）。
- 凝集剤は、上水道向け製品が増収、電子部品のエッチング用途向けが減収。
- その他製品は、コンデンサー向け原料が、調整局面の継続による販売数量の減少により大幅な減収。
- 営業利益は、半導体・電子部品関連市況悪化による販売数量減を主因として、47.0%の大幅減益。

【化成品事業】 売上高とセグメント利益の推移

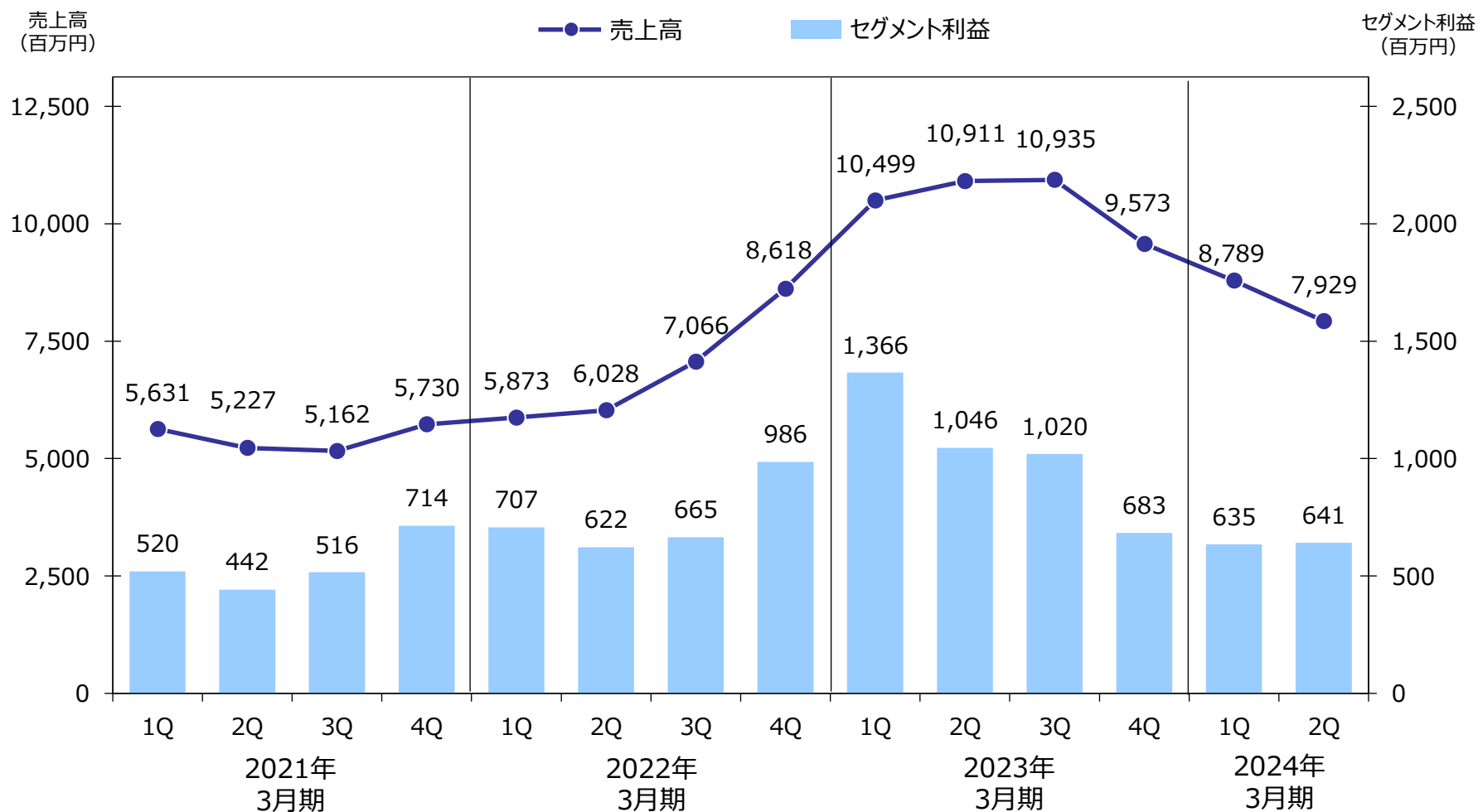


【化成品事業】 製品別売上高の推移



化成品事業（四半期業績）

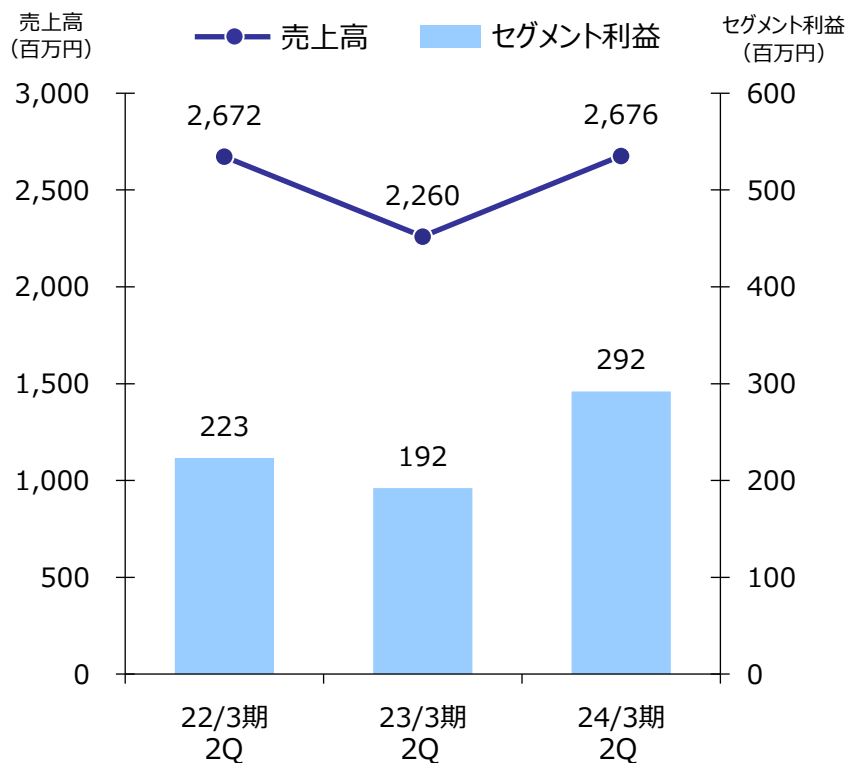
【化成品事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



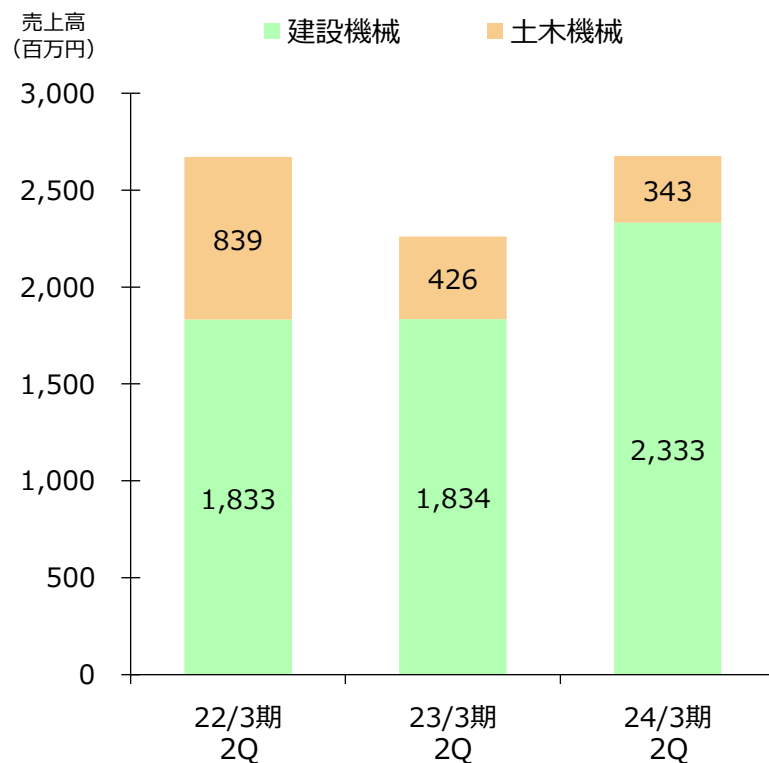
機械事業

- 建設機械は、本体販売が減収、プラント販売は増収、消耗部品は前年並み。精密機械加工は減収。
- 土木機械は、本体販売、レンタル物件ともに減収。
- 営業利益は、売上高の増加が要因で、51.8%の増益。

【機械事業】 売上高とセグメント利益の推移

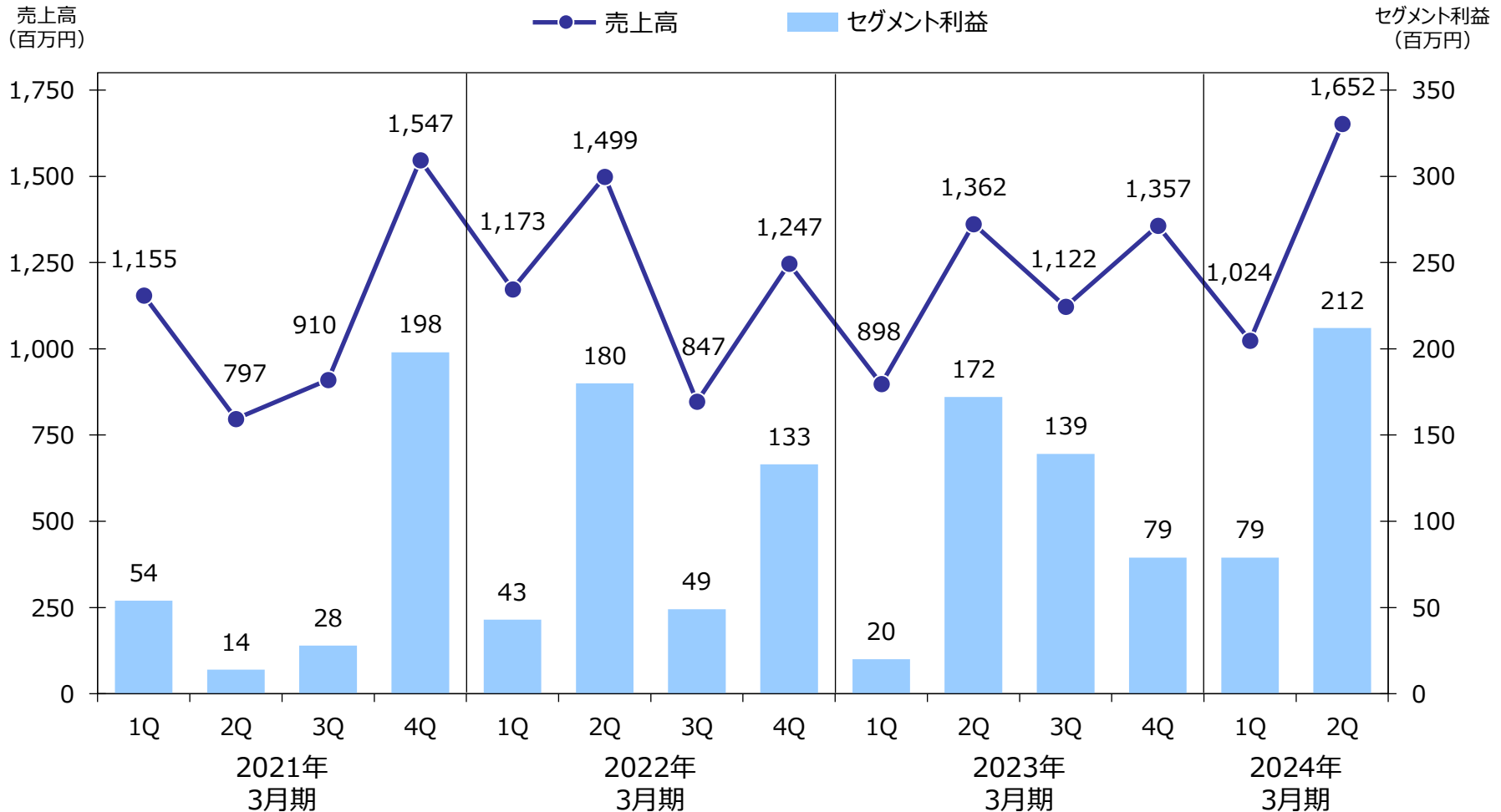


【機械事業】 製品別売上高の推移



機械事業（四半期業績）

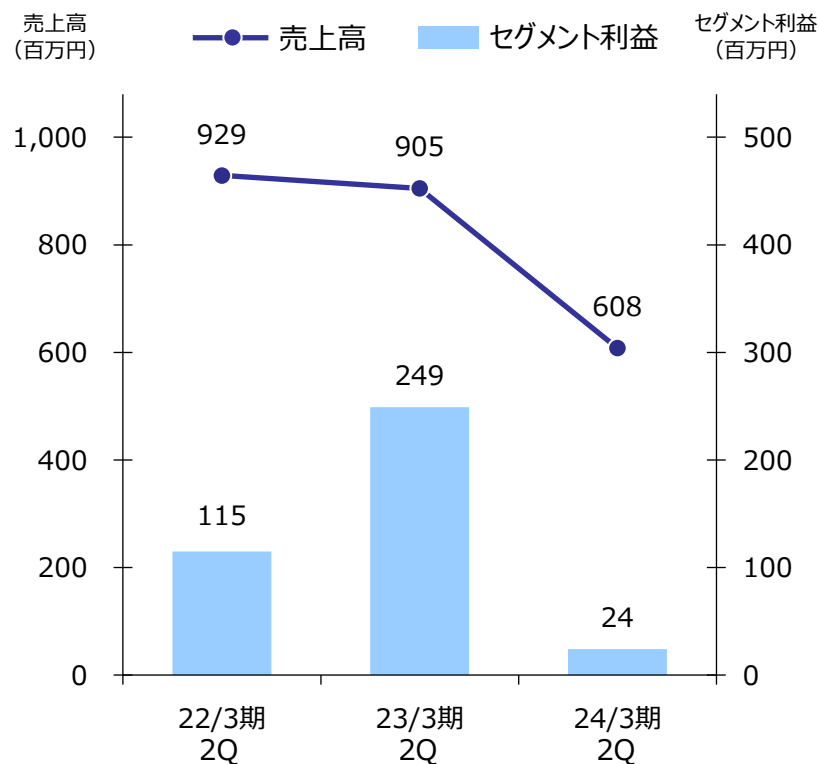
【機械事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



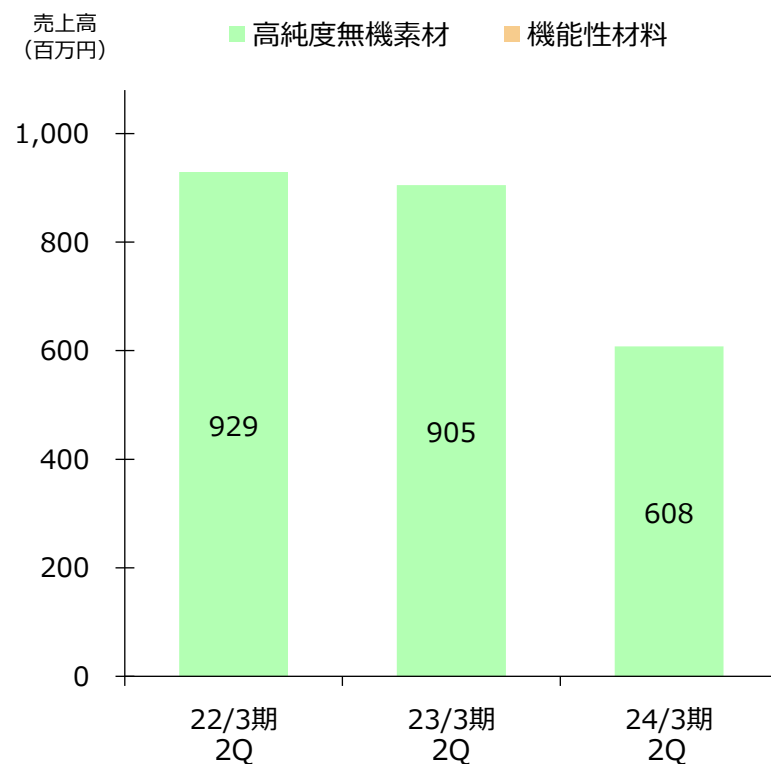
電子材料事業

- 化合物半導体向け高純度無機素材は、ガリウム、インジウム等が市況の悪化を受け大幅な減収。
- 営業利益は、市況悪化による販売数量減を主因として、90.4%の大幅減益。

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の推移

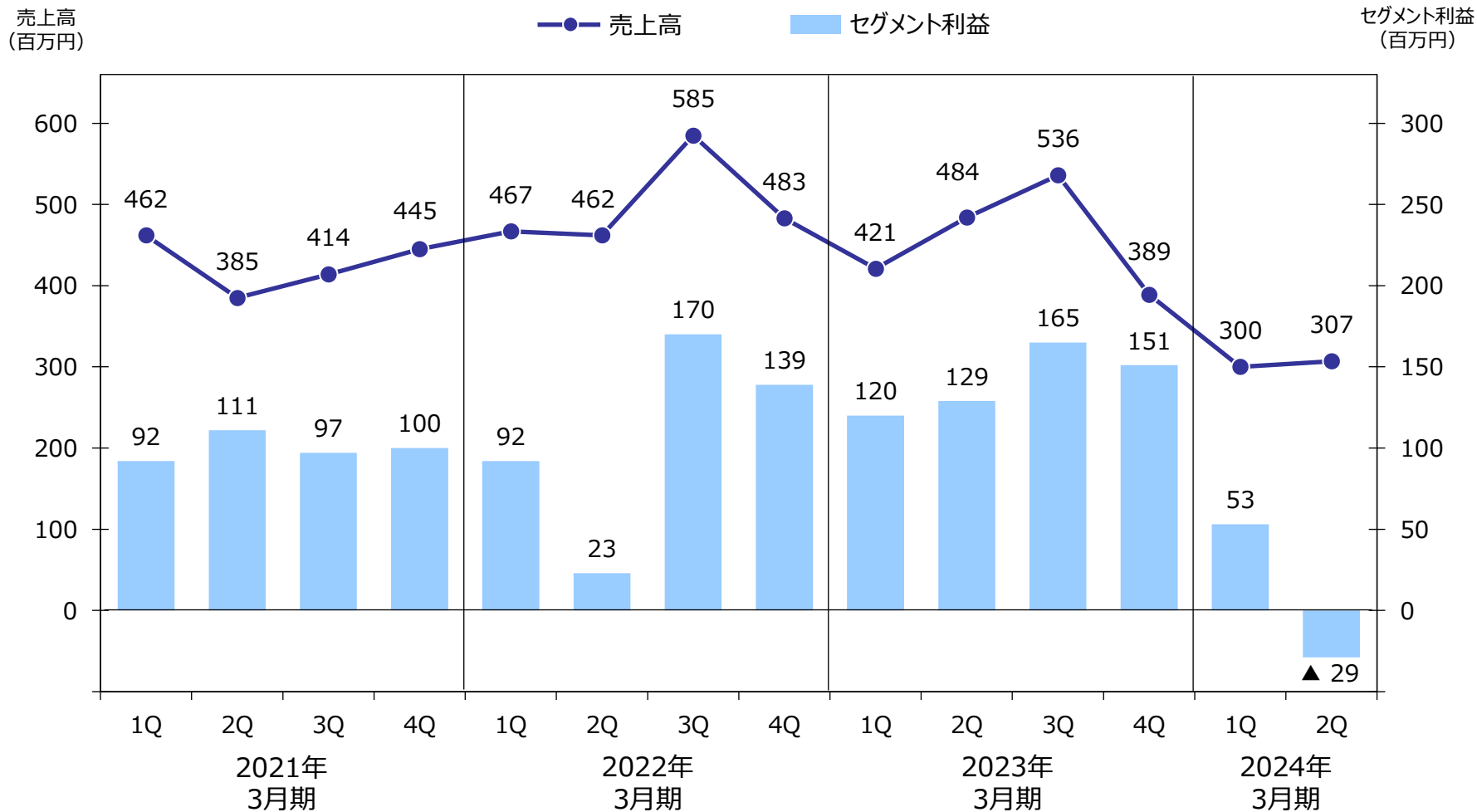


【電子材料事業】 製品別売上高の推移



電子材料事業（四半期業績）

【電子材料事業】 売上高とセグメント利益の四半期推移



損益計算書（連結）

（単位：百万円）

	2023/3期 第2四半期	2024/3期 第2四半期	増減	前年同期比
売上高	25,205	20,640	△ 4,564	△ 18.1%
売上原価	20,142	16,842	△ 3,300	△ 16.4%
販売費・一般管理費	2,435	2,421	△ 14	△ 0.6%
営業利益	2,626	1,376	△ 1,249	△ 47.6%
営業外収益	299	172	△ 127	△ 42.5%
営業外費用	176	195	19	10.8%
経常利益	2,750	1,353	△ 1,396	△ 50.8%
特別利益	2	140	138	—
特別損失	32	—	△ 32	—
税金等調整前四半期純利益	2,720	1,494	△ 1,226	△ 45.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,831	991	△ 839	△ 45.8%
（減価償却費）	915	930	15	1.7%

貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

	2023/3月末	2023/9月末	増減
流動資産 計	25,564	22,801	△ 2,763
現金及び預金	4,940	2,889	△ 2,050
受取手形及び売掛金	11,303	11,541	237
たな卸資産 ※	8,364	7,927	△ 438
固定資産 計	21,987	22,293	305
有形固定資産	17,893	17,625	△ 267
無形固定資産	40	51	11
投資その他の資産	4,053	4,615	562
流動負債 計	15,737	13,671	△ 2,065
支払手形及び買掛金	5,524	3,680	△ 1,844
短期借入金	7,147	6,656	△ 490
固定負債 計	8,563	7,537	△ 1,026
長期借入金	5,021	4,012	△ 1,008
退職給付に係る負債	3,165	3,156	△ 9
純資産	23,252	23,886	634
自己資本	23,125	23,886	761
非支配株主持分	126	—	△ 126
総資産	47,552	45,095	△ 2,457
<自己資本比率>	48.6%	53.0%	4.3%

※ たな卸資産 = 商品及び製品 + 仕掛品 + 原材料及び貯蔵品

2024年3月期の業績予想（2023年11月14日見直し）

- 化成品事業は、電子部品関連市場の調整局面が上期に引き続き、下期も継続するとの見通しから、前年比大幅な減収減益を見込む。
- 機械事業は、下水道関連の掘進機が海外向け販売の回復、破碎関連機械がプラント工事の販売増により、前年比増収増益を見込む。
- 電子材料事業は、ガリウムなど高純度無機素材は半導体市況の悪化の影響が下期も継続するとの見通しから、前年比減収減益を見込む。

（単位：百万円）

	2023/3期	2024/3期予想	増減	前年同期比	期初予想
売上高	49,600	43,000	△ 6,600	△ 13.3%	48,400
化成品事業	41,918	34,300	△ 7,618	△ 18.2%	39,000
機械事業	4,739	6,200	1,460	30.8%	6,200
電子材料事業	1,830	1,350	△ 480	△ 26.2%	2,050
その他の事業	1,112	1,150	37	3.4%	1,150
営業利益	4,622	3,250	△ 1,372	△ 29.7%	3,600
化成品事業	4,115	3,100	△ 1,015	△ 24.7%	3,100
機械事業	410	600	189	46.1%	550
電子材料事業	565	100	△ 465	△ 82.3%	500
その他の事業	681	700	18	2.7%	700
全社費用など	△ 1,149	△ 1,250	△ 100	—	△ 1,250
経常利益	4,690	3,050	△ 1,640	△ 35.0%	3,600
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,232	2,100	△ 1,132	△ 35.0%	2,600
1株配当金	82.00円	82.00円	—	—	82.00円

想定為替レート

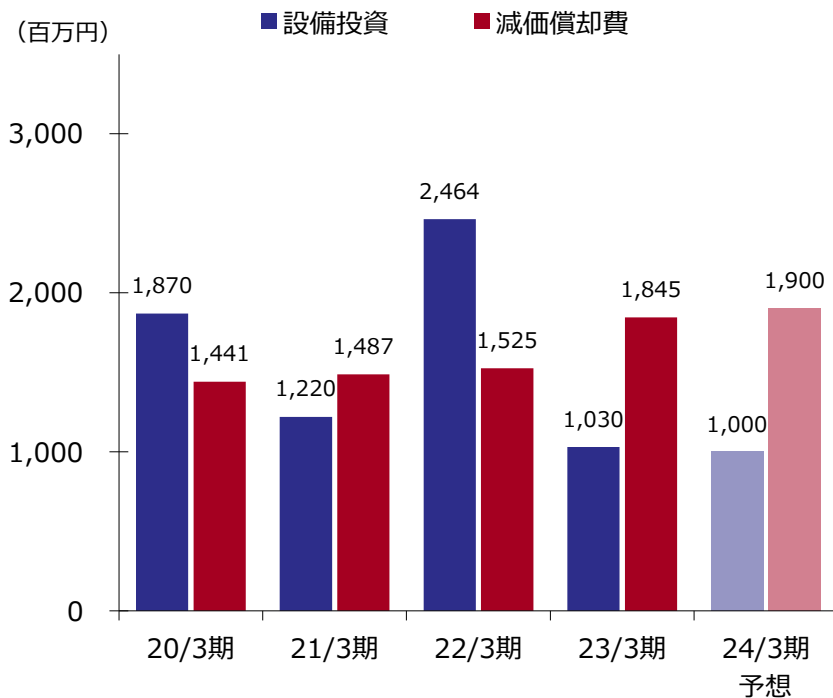
143円/USD

130円/USD

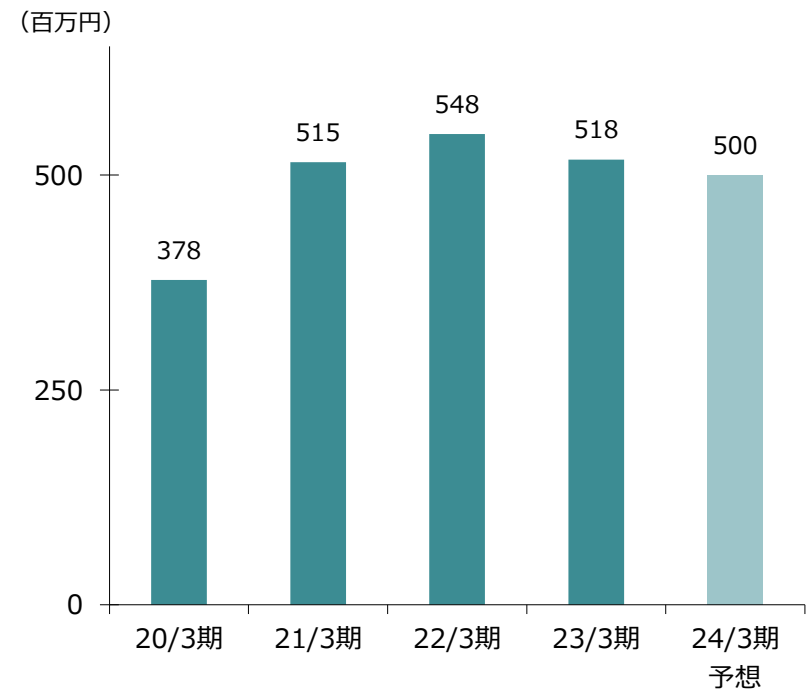
設備投資・減価償却費及び研究開発費の推移

- 設備投資は、半導体向け高純度燐酸の増産対応が一巡し、2023年3月期および2024年3月期は、維持更新投資が中心。
- 研究開発費は、主に電子材料事業において、原子力の安全性・信頼性向上のための研究開発（当社製品：放射性ヨウ素吸着剤等の研究開発）を2021年3月期から継続。

設備投資・減価償却費



研究開発費



本資料に関する注意事項

本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の数値等に関する記載については、不確実な要素を含んだもののご理解下さい。

－IRに関する問い合わせ窓口－
ラサ工業株式会社 経理部
03-3258-1835